

「学校のおばけ屋敷 in 有田川」終了のお知らせと御礼

当イベントは、2013年(平成25年)に町内の古民家の宿泊施設「やすけ・佐太夫」でのおばけ屋敷から始まり、町立金屋図書館や有田川町地域交流センター(ALEC)、よりリアルなおばけ屋敷を目指し、有田川町立五西月小学校(休校)を舞台に、コロナウイルス等の影響による休止を挟みながらも、12年間に渡り開催をしてまいりました。

この度、主催者の都合により、2025年(令和7年)度の開催を中止させていただくこと、また、2026年(令和8年)度以降の開催も未定となっておりますので、併せてお知らせいたします。

有田川町では「絵本のまち」として、絵本を通じた様々な取り組みを行っており、本イベントもその事業の一つで、絵本「学校ななふしぎ」(斉藤洋/文、山本孝/絵、出版:偕成社)をテーマに構成しています。実際の小学校(休校)を使うことで、「絵本の世界をよりリアルに体験してほしい」「地域への理解や愛着を持ってもらいたい」という思いを込めて、このおばけ屋敷を行ってまいりました。全開催期間をとおし、延べ約2万人の皆様にご来場いただき、絵本作家の山本孝先生の監修による演出と作成されたおばけ達は、訪れた人々に強烈なインパクトを与え、記憶に残る夏の思い出としてご好評をいただきました。

さらに2階フロアでは、来場者の皆様が自分だけの「おばけ」を作ることができるおばけ作りコーナーや、仮装して記念写真が撮れるおばけに変身コーナー、おばけ横丁(ミニおばけ屋敷)など、怖くも楽しい体験型ワークショップも充実。スタンプラリーや食事コーナー、地域の農家の方に出品いただいた野菜、絵本の読み聞かせ、山本先生によるサイン会なども、子どもから大人まで幅広い世代の方に喜んでいただけたと思っております。

最後に、これまでご来場いただいた皆様、企画に多大なるご協力をいただいた山本孝先生をはじめとする関係出版社の皆様、地域のボランティアスタッフ、絵本のよみきかせ隊・絵本コンシェルジュの皆様、そしてこの取り組みに関わってくださったすべての皆様、このような取り組みを通して、地域の文化・芸術・観光資源の再発見と再活用にご尽力いただき、心より感謝申し上げます。

皆様の記憶の中に、とても怖くて、でも楽しい“学校のおばけ屋敷”がいつまでも残ること、そして再び出会えることを願って――

●2013年から2024年までのイベントチラシ



2024年



2023年



2022年



2018年



2017年



2016年



2015年



2014年



2013年

「ご協力」いただいた皆様（順不同、敬称略）

(株)偕成社、(株)小峰書店、(株)ブロンズ新社、(株)ほるぷ出版、(株)岩崎書店
絵本作家町田尚子、(財)有田川町ふるさと開発公社、(株)テレビ和歌山、
(有)ホワイトベース、(社)絵本まちづくり協会、平松書店、五西月公民館、
五西月地区の皆様、キッチンカー事業者の皆様